

氏 名：松田尚子（尾道市立高須小学校）  
現地勤務先：メルセデス・ミルトス小学校

☆平成23年7月～9月の出来事

# ¡Nos vemos!

平成23年10月 第6号

こんにちは！¿Cómo estan?（コモ・エスタン？：調子はどうですか？）

前号から約3か月経ち、寒かったパラグアイは夏に向かってだんだんと暑くなってきました。日本とは全く逆なので不思議な感じがしますね。

さて、この7月から9月の間には、様々なイベントがありました。中でも私の故郷“広島”に関するイベントを行い、パラグアイの子どもや先生に広島を紹介することができてとてもうれしかったです。

今回は、それらのイベントや学校で行われた記念行事について紹介します。

## 1. 原爆展（原爆についての授業）

パラグアイでも「原爆」「ヒロシマ」「ナガサキ」という言葉は有名です。原爆とはどんなものでどのような被害を及ぼしたのか、現在の世界が抱える核兵器の問題とはどのようなものなのかを説明したりみんなで考えたりしました。



子どもたちや先生は、原爆投下後の写真を真剣に見てその悲惨さを感じていました。



広島に投下された原爆がもしみんなの住むイタクルビ市に投下されたら…。被害図を町の地図に重ねてみると町はほぼ全壊という状況に。被害範囲の広さに驚いていました。



原爆についての感想や自分の思い・願いを書いてみんなの前で発表しました。



平和への願いを込めてみんなでツルを折りました。これらはまとめて広島に送りました。

## 2. 世界の笑顔のために～サンフレッチェ広島さんから～

JICA（独立行政法人国際協力機構）の企画「世界の笑顔のためにプログラム」で、サンフレッチェ広島さんから使わなくなったユニフォームを提供していただきました。たくさんのきれいなユニフォームに子どもたちも先生も大喜びでした。



段ボール箱3箱に入ったたくさんのユニフォームが広島からはるばるやって来ました！

勤務校では、ユニフォームの授与式を行っていただきました。「サンフレッチェさん、ありがとう！」と喜びの声。



代表の子どもたちがユニフォームを着て試合をしました！



## 3. 50周年記念！

私の勤務校は、今年で創立50周年を迎えました。そこで、50周年を祝う行事が行われました。



町や学校に関する問題に答える、クラスごとの競争イベント。



学級園のコンクール。みんなで鉢に絵を描く1年生（左）。7年生が授業で作った作品（右）。



子どもたちのための昼食会がありました。前日から保護者や先生が準備に取りかかり、みんなでおいしくいただきました。



教会でのミサ（お祈り）や学校で行事がありました。子どもたちの詩の朗読、ダンスなどがありました。私も日本代表でソーラン節を披露しました！